

岩沼中

「自立」「友愛」意識し行動



これがイチオシ デザイン性の高い校舎

学校のイチオシはデザイン性の高い校舎です。伝統ある東校舎も増築された西校舎も、木がふんだんに使われて温かみを感じます。二つをつなぐ渡り廊下や西校舎が囲む中庭も自慢です。

コロナ禍で全員が体育館に集まれない中でも、各階で全校生徒が中庭を囲み、岩中祭や吹奏楽部のコンサートなど多くの活動に活用しています。生徒会スローガン「改華～気づく、正す、そして華めく～」の書道パフォーマンスによる発表も行いました。校舎は学校生活を送る上で最高の環境です。

学校名 岩沼市立岩沼中学校
所在地 岩沼市桑原4の8の1
創立 1947年
電話 0223(22)2814
校長 三田村 素志
生徒 367人

岩沼中学校の校訓は「自立」「友愛」です。この二つを一人一人が意識し、生徒主体の学校生活を送っています。

継承していききたい校訓

また、岩中ではいつでも校地内にある自動販売機を利用できます。休み時間や放課後、好きな時間に好きな飲み物を購入して飲んでいきます。学校にお金を持って来ますが、金銭トラブルは一度も起きていません。部活終わりにジュースを飲む中学生は岩中生だけではないでしょうか。これからも岩中に根づく「自立」「友愛」の精神を絶やすことなく継承していききたいです。



体育館前に設置されている自動販売機。休み時間や部活動後に水分を取る生徒の姿も

編集委員 高橋貴太、関田莉輝、古積望花、桜井寧々、佐藤乃愛(2年)
指導教員 沓沢遥、佐藤夏子、佐藤諒

わが校わがまち スクール通信



今回は
松島一小(松島町)
仙台一中(仙台市)

クイズや紙芝居で楽しく

釜小

5、6年生SDGs学ば

釜小小学校では5年生と6年生が、総合的な学習の時間に「未来の石巻を考える」SDGsを学びながら「というテーマで、国連の持続可能な開発目標(SDGs)について学んでいます。6年生は1学期、昨年度に先輩方と学習したことを振り返り、SDGsの17の目標から、もっと深くや新たに知りたいと思ったことを一人一人が選んで「自分たちにできること」を考えました。今は新聞・ポスター作りや詰め替えパックの回収などを行っています。



左上からとけい回りに「詰め替えパックの回収」「全校向けに行ったSDGsクイズ」「釜小の活動を紹介する大型店の展示」「5年生へのプレゼンテーション」



編集委員 半沢幸太郎、日野愛彩(6年)
指導教員 佐藤あづ沙



これがイチオシ 校庭に歴史ある梨の木

釜小の校庭には歴史ある梨の木があります。釜地区では明治時代に梨の栽培が始まり、昭和中期に一大産地になりました。しかし、石巻工業港の開港で都市化が進み、梨は減少しました。さらに東日本大震災の津波被害で、現在は校庭の1本しか残っていません。

「釜梨」の名を残していこうと、校章には梨の花が取り入れられています。2016年には「梨のふるさと釜」と書かれた石碑が校庭の木の前に建てられました。これからも校庭の梨の木を大切にしていきます。

学校名 石巻市立釜小小学校
所在地 石巻市大街道西2の5の1
創立 1946年
電話 0225(22)1840
校長 赤平 光秀
児童 397人